

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2008年4月1日
学部・研究科名	農学部
学科・専攻等名	生物資源環境科学科
コース等名	
細分名	
農学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
農学部のGraduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人々が自然と共存して幸せに生きていけるよう、生命と環境、およびそれらの相互関係を把握するとともに、それらの将来あるべき姿を考える能力を身につけている。 2. 農学の基礎知識、研究技術に加え、さらに理解力、創造力、解決力、総括力を身につけている。 3. 学問・研究の他に、人間性および社会性を身につけている。 	
生物資源環境科学科のGraduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 修学計画能力：生物資源環境科学科において何を学ぶか、生物資源環境科学とは何かの概念を得る。また、生物資源環境科学科教育プログラムの学習・教育プログラムを把握し、自ら修学プランを立案できる。 2. 一般的基础能力：語学、人文、社会系科目を含む幅広い教養科目および生命倫理を学び、社会に対する責任感を養う。 3. 農学基礎能力：自然科学的および社会科学的農学系基礎に関する知識と応用力を身につける。 4. 専門応用能力：生物資源環境科学に関する総合的専門知識及び技術の取得とそれらを用いて諸問題の解決方法を自ら考え実践する能力を身につける。 5. コンピュータ応用能力：生物統計等に関するソフトウェアの理論と使用法を理解し、生物生産、環境計測、農業経営などの様々な過程で現実的な複雑さを持つ農学的諸問題を迅速に解決できる。 6. 農学研究能力：農学的諸問題に対して、農学的かつ論理的な考察を行い、自ら解決方法を発想し成果を得ることができる。また、発想から成果に至る研究経過を明解にレポートにまとめ、わかりやすくプレゼンテーションするとともに、討議できる能力を身につける。さらに、得られた成果を客観的に評価し、改善することができる。 7. 農業・農村地域の環境の課題における指導能力：生物多様性をはじめ、農業・農村地域の環境課題を解決するための能力を発揮し、指導者となる素養を涵養する。 8. 自己研鑽能力：多様化・複雑化する生物生産システム、生命、環境、自然に関する諸問題に関心を持ち、それらの問題を理解あるいは解決するために自己の能力を継続して向上させることができる。 9. 進路計画能力：農業ならびに関連産業界の動向、求められる人材、就職環境などを把握して、将来の進路を展望し、自ら進むべき方向を決定できる 	